

船橋税務署長賞

身近な問題から考える税金の使い方

船橋市立船橋中学校

第三学年

五十嵐

俐都

私は、この『税についての作文』を知る前に家族と船橋市にある『日の出水路』の近くを歩いていました。そこで弟が『日の出水路』を見て言いました。

「お兄ちゃん、船が逆さまになっているよ。」

私は、この弟が言った言葉に興味をもちませんでした。ですが、『日の出水路』の船が逆さまになっており、船を撤去するのに税金がかかってしまうというニュースを目にしました。私は、このニュースをみて弟が言った言葉を思い出しました。あの時は、税金を使って船を撤去するとは思っていませんでした。なので、『日の出水路』で逆さまになっている船について調べることにしました。

まず、『日の出水路』には、不法に放置された船が一〇四隻ほど浮かんでいます。朽ち果てた船であり、住民からは『船の墓場』と呼ばれています。船の上にゴミを不法投棄され、

異臭を放つなどしており、周辺住民の悩みの種となっていました。今回撤去されるのは放置された十七隻の船だけでなく、不法に建てられた栈橋やくいなど二十四カ所が撤去されています。撤去費用は約七三〇〇万円にのぼり、税金の一部はこれらのために使われています。県は船の持ち主が見つかり次第、費用を請求する方針ですが、所有者が分かっているのは二隻だけで十五隻は分からないそうです。私は、捨てた人が撤去費用を払うべきだと思いました。なぜかというと、税金は医療や交通整備、教育関係に使われることが望ましいと思うているからです。ですが、不法投棄されることにより、土壌汚染や地下水汚染の可能性がでてくるのです。景観は損なわれ、近隣住民は悪臭にも悩まされています。このことから私は、環境に係ることは自分たちの生活にも影響を及ぼし他人事で考えては

いけないと思いました。そういえば、この前、母が台所にいるとき弟が

「生ゴミを排水口に流さないようにして。川が汚れるから。」

と言っていました。何の事かと聞いてみると、校外学習でゴミ処理センターに行ったときに、家庭から出る排水で川が汚れていることを勉強したため、それを母に教えていた様でした。

小学校の校外学習の費用についてです。学校では、教育予算の一部を使って費用を負担していることがあります。また、その資金の一部は地方税、つまり私たちの税金からも支出されているそうです。これにより、子どもたちがさまざまな体験をできるようにサポートされているのです。

私は、このような教育が、将来私たち子どもが大人になったときに、今回の不法投棄のような問題を起こさないための足掛かりになるのではないかと思います。他にも不法投棄を監視、取り締まる体制の強化やゴミの適切な処理方法の普及活動など、こういった啓発活動に税金を使うことで美しい自然と健康な社会を守っていけると思いました。